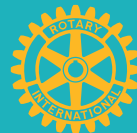




ロータリー：  
変化をもたらす

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



# 会報

2017 ▶ 2018  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ  
会長目標

親睦と奉仕で作る友の輪

会長／森 幹雄 幹事／阿部 洋一

## プログラム

(第32号・第33号) 合併号

- 本日  
夜間通常例会
- 次週予定  
－法定休会－

会員誕生日  
中 出 敏 彦  
中 井 祐 史

No. 2779  
第32回 4月25日

出席報告

前  
例  
会

会員総数……………36名  
出免会員……………4名  
出免出席……………4名  
基準会員出席……………21名  
出席率……………69.44%

前  
々  
会

第29回 3月28日

欠席会員……………12名  
内メイクアップ……………6名  
修正出席率……………82.86%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 🖋️ 会長報告 ……………

1. 4月4日(水)に留萌RC創立60周年検討委員会を5名の委員にて開催いたしました。

## 📁 幹事報告 ……………

- 5月深川市に於いて開催されるIMの最終出欠を締め切りました。留萌クラブより当日参加される方は18名となりました。参加される方はよろしくお願ひします。
- 先週土曜日に発売になりました財界さっぽろに、留萌RCの記事が掲載されました。豊年屋さんのセブンイレブンは売り切れでしたが、栄町のローソンにはまだ4冊ありました。ご希望の方はお早めにどうぞ。
- 4月26日(木)に第11回定例理事会並びに第6

回クラブ協議会を開催いたします。議案をお持ちの委員会は前日までに私の所までお持ち下さい。

- 次週例会は夜間例会となります。午後6時30分点鐘、場所は富丸です。お間違えないようお願いします。

## 👥 委員会報告 ……………

社会奉仕委員会

青山委員長

5月10日(木)に地区補助金事業として、留萌通園センターに於いて児童親子との合同ケーキ作りを開催いたします。詳しい事は後ほど皆様にFAXを差し上げますが、午前中の10時から2時間程度の事業です。平日ですので、出られない方もいらっしゃると思いますが、昨年も開催しておりますので、気軽に参加して下さい。

## 第31回 4月18日(水) 天候/晴

次年度から

堀 次年度幹事

4月19日が委員会活動の事業計画の締め切りとなっております。まだ提出されていない委員会は、お早めに提出願います。次週に開催予定でした被選理事会は5月の連休明けに開催する事になりました。5月8日(火)午後6時30分産業会館にて開催します。よろしく願います。



### ニコニコBOX.....

- 地区研修協議会に出席して参りました。担当委員会の皆様ご苦勞様でした。

大嶋会長エレクト

- 地区協議会の報告をさせていただきます。

堀 次年度幹事

- 本日地区協議会の報告をさせていただきます。

燕会員

前 回 733,079円

今 回 4,000円

累 計 737,079円



### プログラム.....

「地区協議会報告」

堀 次年度幹事

10時の点鐘に始まり、最初は小山ガバナーエレクトの基調講演がありました。1月にアメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会の内容でした。2018-2019国際ロータリーテーマは「インスピレーションになろう」目標は次の三点です。

- ①クラブのサポートと強化
- ②人道的奉仕の重点化と増加
- ③公共イメージと認知度の向上 です。

目標の①は、クラブ会員の維持と会員数増加と女性会員を増やすなどです。②は、ポリオ撲滅と年次基金への寄付を増やし、2025年度までに20億2500万ドルを目指すというもの。③は、ロータリーの活動を通してクラブへの認識を高めてもらい、その役割を世界に対して周知するという事です。

次に地区テーマと目標に対しての説明がありました。

次年度のテーマは「持続可能な絶え間なき変革のスタート」

地区目標は

- ①組織を活性化しよう
- ②ロータリーの認識・理解を深めよう
- ③地域社会との関わり合いを深めよう です。

小山ガバナーエレクトの「何か大きなことに挑戦しようという気持ちをクラブや他のロータリアンに与えて、行動を起こす意欲を引き出してほしい」と言っていたことが印象に残りました。

午後の部は分科会です。札幌クラブ所属の久保田次期地区代表幹事をリーダーとして2時間程度研修を受けました。

内容は幹事の心構え、責務、会員に対しての効果的な事などでした。幹事の仕事は非常に広範囲に渡りますが、会長と会員を繋ぎ運営の中心的役割だということ。事務管理はもとより、雑務から奉仕活動と幅が広いことを再認識しました。会長が「理想や理念、夢を語れば、幹事がそれを実現化出来れば最高である」ということでした。少しでもそのように近づけるように努力していきたいと思います。また、アドバイザー役の安孫子バスターガバナーからも研修を受けましたが、「例会を一人一人が大切にすることが非常に重要なポイント」と言っていました。出席率の向上も考えていかなければならない昨今ですが、2時間の研修を受け、本当に自分に出来るのか益々不安になってきましたが、私なりに頑張っていきたいと思います。

また、当日は中出さんの車で札幌に向かいましたが、車中の何気ないロータリー談義も結構勉強になりました。当然のごとく夕食を兼ねた留萌での安着祝も楽しいひと時でした。最後に運転をしてくれた中出さんと大嶋会長エレクト本当にお疲れ様でした。

以上で、私の地区研修・協議会報告といたします。

## 福士 次年度クラブ奉仕委員長

次年度は、クラブ奉仕委員会の中に、広報・ICT委員会、ロータリー情報委員会を置くということのようです。

私見ですが、留萌クラブの場合は、クラブ奉仕委員会に、広報・クラブ会報委員会、例会運営委員会、親睦委員会、会員研修委員会が含まれているわけですから、実質的には変わらないのかなと思います。

分科会の後半はディスカッションがあり、テーマは「会員や一般の方から見て魅力的なクラブとは」。サブテーマは

- ①会員増強や親睦活動についての課題
- ②会員増強活動や親睦活動を行うため必要なロータリー情報について
- ③ロータリーの公共性と向上について

以上のテーマに対しての各クラブから出てきた意見です。留萌クラブでも参考になるものがあると思います。

- ①社会奉仕活動を充実させる。
- ②新会員のサポートができています。
- ③クラブのウェブサイトとソーシャルメディアサイトの管理ができています。
- ④入会者候補のリストがある。
- ⑤体験入会を年4回行っている。
- ⑥2代目を入会させる方法はないですか。
- ⑦増強は、全会員で行う。
- ⑧転勤族の入会者の促進

(例：銀行の支店長等)

- ⑨女性会員の増加を促す。
- ⑩滝川クラブは、60周年に100人を目指す。
- ⑪JCの退会者を誘う。
- ⑫入会を誘うときのパンフレットがある。
- ⑬新会員の歓迎会を行っている。

以上

## 田中 次年度職業奉仕委員長

先週日曜日、札幌にて地区研修協議会に参加しました。午後より、次期職業奉仕委員長予定者のための講義を約100名程度で別室にて、函館亀田クラブの玉井清治次期地区職業奉仕委員長から講義を受けました。2時間の講義でした

が、前半は職業奉仕とは何か？世界の職業奉仕の歴史、我々が作成する活動計画書をどの様に作成すべきか。といった座学がメインでした。後半はフォーラムディスカッションという事で、参加者から個別の質問に答える、という流れでした。私も初めての職業奉仕委員会という事で右も左もわからないという認識レベルですが、他の参加者も同様に、何をすれば良いのかと質問されていました。

玉井委員長の講義の要点についてお伝えします。

「職業奉仕はロータリーの原点、職業奉仕はロータリーの金看板である」

この考え方は、日本では基本的な考え方であるが、世界的には受け入れられない考え方のようです。そもそも、ポール・ハリスが亡くなった翌年から40年間、RIで職業奉仕委員会の設置がない時代があったそうです。

次にロータリーソング「奉仕の理想」の徹底分析を行いました。作詞家は京都の会員ですが、ガバナーの意向で自分が作詞した歌詞について涙を飲んで変更せざるを得なく、逝去の際には親しい友人に「ぜひ、いつか自分の考えた当初の歌詞に戻してほしい」と言って亡くなったそうです。

また、活動内容についてですが、職業奉仕だから何をしても良くて、例年通りある企業見学をして視察してくるだけ？で良いのかという疑問を呈されておりました。昨今の食品偽装や個人情報流出などの謝罪会見動画を見て、コンプライアンス違反による企業の社会的責任が問われる中、職業を通じて社会に貢献するという立場から勉強会を行う事も大切ではないか？と発言されておりました。

最後に職業奉仕の定義についてお伝えします。ザ・ロータリアン誌1972年9月号掲載「職業奉仕とは何ですか？」簡単に定義すれば、貴方の職業を通じて他人を助ける事です。職業奉仕とは、会員になったあらゆるロータリアンに課せられた個人的義務です。ロータリークラブは新会員が入会した時だけではなく、その後もずっとこの義務を強調しなければなりません。そし

## 第31回 4月18日(水) 天候/晴

て、クラブは義務を果たしているかどうかを各会員に尋ねる権利と義務を持っているのです。という事です。

職業奉仕の実践は、ロータリアン個人の義務であるという事でした。私も入会歴が浅く、分からない事ばかりですが、貴重な学びをいただく事が出来ました。ありがとうございました。

### 燕 次年度社会奉仕委員長

この度、久しぶりに地区研修・協議会へ行ってまいりました。

本会議は小山ガバナーエレクトの基調講演、熊澤パストガバナーの講演を聞き、午後からは分科会で行われました。

私は次年度社会奉仕委員会の委員長ですので、第5分科会社会奉仕部門に出席しました。

今回は、今年度行われました事業についての報告会でした。

何故このようなスタイルかといいますと、佐々木<sup>まさつぐ</sup>正丞パストガバナーが、会員みなさんから他のクラブは「どういふ奉仕活動を行っているのか」また、「奉仕活動の実態」が理解されていないというのが現状で、ロータリー各クラブの社会奉仕や地区の社会奉仕とは何かを改めて考えるということが目的で行われました。

発表と致しましては、地区の社会奉仕では、夏に行われ、留萌クラブも森会長、阿部幹事、高田会計、福士副会長、堀次年度幹事、燕で参加致しました。120万本の植樹事業、その事業を世界にも広めたタイ・ノンカイでの植樹。各クラブの社会奉仕事業からは3つのクラブから発表があり、一つは、札幌南ロータリークラブの「親子暗唱大会」。これに関しましては、元々の発祥は和歌山城南ロータリークラブで行っていたもので、この事業が“ロータリーの友”に掲載され、当時担当だった羽生パストガバナーが「これはいいものだ」「クラブみんなで実施もできる」「社会奉仕と新世代の事業を一緒にできる」ということで、和歌山のクラブの了解と、情報の提供を頂き実現されたものでした。周年事業の一環としても行い、今年で10回目だそうです。

次の滝川ロータリークラブのそらぷちキッズキャンプに関しては、留萌クラブも行ったことがある事業でしたが、滝川クラブとしては、周年事業の一環としてスノーモービルを寄付、ツリーハウスの車いすでも行ける木道の設置、ピザ釜のハウズづくりを行って行っていました。中でも木道は釘を打つ作業があるのですが、ロータリアン一人一人が一本ずつ釘を打つというこだわりがありました。

3番目に、妹背牛のジュニアカーリング大会です。オリンピックでも話題になりましたが、カーリングと妹背牛は30年前から繋がりがあり、妹背牛は表彰された「救急リレーバトン」といふ、7人だけのクラブでもいつも話題になり、さすがと感じました。最後は、嵯峨パストガバナーのアドバイザーとして、講評の中で「ひと昔前のロータリーはライオンズクラブと違い、奉仕することを前面に出さないことが美德とされてきていました。しかしこれからは、一般市民の方々にロータリークラブの活動を知ってもらい、イメージを向上させましょうという流れになっております。もっともっと外にメディアなど利用し発信させましょう」とお話しされて行いました。

これから次年度の活動計画書を提出いたします。私もみんなが参加し、みんなの為になる奉仕が出来るよう考えていきたいと感じました。

### 櫛井 次年度青少年奉仕委員長

青少年奉仕は、4つの委員会で構成されています。青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクトです。

地区推進目標は40歳未満の会員とローターアクトの獲得であり、インターアクト、ローターアクトのメンバーと共に奉仕プロジェクトに参加できるプログラムを進めてくださいということでした。

インターアクトは12歳から18歳。ローターアクトは18歳から30歳。ローターアクトの設置に関しては、地区も手助けをして共同提唱ということも可能。

次年度もRYLAには力をいれて取り組むこ

とが決まっており、各クラブにおいても周知をお願いする。

青少年交換は、15歳から19歳の青年がロータリーの親善大使として一年間交換留学を行うものです。

次年度も地区としても、青少年奉仕に対する取り組みに力をいれていくということでした。

## 中出 次年度国際奉仕委員長

次年度国際奉仕委員長として地区研修協議会に参加して参りました。正直、私は運転手役を務めておりましたので、皆様の安全を守るべく、体を休めておりました。ただ、国際奉仕の分科会では、留萌クラブより西谷会員や燕会員が地区委員として参加していましたので、当時から行っている水事業中心の話でした。地区委員長は滝川クラブの谷口会員で、留萌クラブにも講演しに来たことがあるので、皆さんご存知の方だと思います。

昔GSEと呼ばれたものが今はVTTと呼ばれて活動をしています。職業研修チームの事です。国際奉仕としては、6つの重点分野を中心に活動をしていると考えているそうです。

1. 平和と紛争予防、紛争解決
2. 予防と治療
3. 母子と保健
4. 水と衛生設備基礎教育
5. 識字率向上
6. 経済開発と地域開発

この6つです。また、ロータリー財団から地区へ来る地区財団活動資金を大いに利用してくださいとのことでした。今回参加して、年数は在籍していますが、まだまだ勉強不足を感じて帰って参りました。以上です。



# 第32回 4月25日(水) 天候/曇

## プログラム

(第32号・第33号) 合併号

●本日

来賓卓話「職業奉仕とは？」

2012-13年度 R I 第2510地区ガバナー 細川 好弘様

●次週予定

お花見例会(神居岩温泉)

No. 2780

第33回 5月9日

出席報告

前例会	会員総数	36名
	出免会員	4名
	出免出席	3名
	基準会員出席	19名
	出席率	62.86%

前々会	第30回 4月4日	
	欠席会員	12名
	内メイクアップ	6名
	修正出席率	83.33%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

## 📝 会長報告 .....

前回	737,079円
今回	3,000円
累計	740,079円

- 4月19日、留萌商工会議所青年部の第28回通常会員総会に出席して参りました。櫛井会員が今年度商工会議所青年部の会長として、また地区の委員として時間の調整が大変だったと推察いたします。ご苦労様でした。
- 轡田ガバナー補佐から、羽幌、留萌、妹背牛、深川クラブが一堂に会して、ゴルフコンペを開催したいとお誘いをいただきました。日時は6月3日(日)12時スタートとなっております。場所は深川カントリークラブです。後日、ゴルフ愛好会がFAXにて皆様にお知らせすると思えます。

## 📖 プログラム .....

【会員研修委員会担当例会】 高田 潔会員  
ロータリー標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」について

=アーサー・F・シェルドンの

奉仕の理念について=

2011. 8. 24 高萩RC

ロータリー情報・研修委員会 資料

### 1. 「ロータリーに奉仕の理念を導入」

親睦と事業場の利益の促進でスタートしたロータリーに、地域社会に対する貢献、公共への奉仕を追加した事によって、ロータリークラブの活動の方向性が定まり、シカゴ市の公衆便所設置運動となった。その後、奉仕理念をロータリーに提唱し、ロータリーがそれを採択して奉仕理念を持ったロータリーへと転換した事でロータリーは今日の発展を成し遂げる事ができた。ロータリーの奉仕の理念は、アーサー・F・シェルドンによって確立し、シェルドンはロータリーの哲学者とか哲人と言われている。それならシェルドンはどのような考え方をもち、それをどの様にしてロータリーに持ち込んで、奉仕の理念として確立したのかを、田中毅氏の書いた物の中か

## 📝 幹事報告 .....

- 明日(4/16)、第11回定例理事会並びに第6回クラブ協議会を開催します。欠席が4名と報告いただいておりますが、欠席される方は早めに連絡下さい。
- 砂川RCより例会プログラムが届いております。

## 📧 ニコニコBOX .....

- 櫛井委員長プログラムよろしくお願ひします。  
森(幹)会長

ら調べてみました。

## 2. シェルドンの理念は、

継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だと捉えて、原理原則に基づいた企業経営をするべきだと考え、さらに有効な労働環境を提供するのは資本家の責務であり、資本家が利益を独占するのではなくて、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分する事が継続的に利益を得る方法だと考えた。シェルドンが最初に唱えた奉仕理念とは、科学的かつ合理的な企業経営方法の事であり、この奉仕理念に則った企業経営は、顧客の満足度を最優先した方法で、その結果が高い倫理を備えた事業所になるという事である。

## 3. シェルドンは1908年1月にシカゴRCに入会して、奉仕の理念をロータリーに導入。

①1910年、第1回全米ロータリークラブ連合会の年次大会でのスピーチ。奉仕哲学に関するスピーチを行い、単に自分だけが儲けようとする商売から脱して、他人に対してサービスする事が、事業を成功させる方法であると力説し He profits most who serves his fellows best (自分の事業に関係する人たちに、最も奉仕した人が、最も多く報いられる) という言葉を初めて披露した。さらに、ロータリーの全米組織はやがて国際組織となり、世界中に広がると述べたが、晩餐会でのスピーチで多くのスピーチの一つであった事から、このスピーチは殆ど注目されなかった。

## ②1911年の私の宣言というスピーチの内容。

(第2回全米ロータリー・クラブ連合会の年次大会にシェルドンは欠席をしたが、寄稿したスピーチ原稿をチェスリー・ベリーによって代読された) 内容が、参加者に極めて強い印象を与えたため、大会議事録として配布された報告書の中に印刷されたうえ、He profits most who serves best という言葉がこの大会で採択された「ロータリー宣言」の結語として採択された。要約すると、人生

の成功は、心理的、道徳的、物質的な自然の法則によって支配されており、これらの自然の法則の全てを調和させる活動こそ、最高の成功を意味する。人生において絶対的な権限を持った宇宙の摂理を認識する必要である。宇宙の摂理を認識する事は、民族の連帯の理解、すべての物の単一性、人間の兄弟愛の現実などという一般的な感覚を開発する事であり、磨かれた人は、ビジネスのいかなる場所においても、He profit most who serves best でなければならないという事実に気づくのである。宇宙を認識する道は、進取の気性を開発する事によって作り出される。サービスしたいという願望は、宇宙の摂理を認識できる人間のたどる道であり、利他の心を持って他人の成功を願う事は、自らが成功への道を歩んでいる事である。



\* 3分間情報 \*

1月からの3分間情報を担当します櫛井です。タイムリーな話題があるときはそれを優先しますが、主に半年を通して田中毅PG著、源流の会発行の「シェルドンの森を巡る旅～経営学に基づく奉仕理念～」から抜粋して皆様に情報提供していきたいと思います。日本のロータリーにおいて金看板と言われる、現代における職業奉仕とはなにかという見えそうで見えない真理を歴史から感じることができます。

新年の初回はそのプロローグをお届けします。

シェルドンの森へようこそ。

シェルドンの森に生い茂っている樹木は、すべて奉仕理念で覆われています。さらによく観察すると、その森はシェルドンの経営学による奉仕理念に基づく樹木で埋め尽くされていることが分かります。この森の実態は、Sheldnismとも呼ばれており、現在RIが推奨している職業奉仕とは全く異なる奉仕理念です。この奉仕理念を実践した実業人や専門職種の方は、継続的に金銭的な利益が得られるという結果に到達できることが特徴です。シェルドンの経営学による奉仕理念は精神的なものではなく、実質的そのものです。

私が初版「シェルドンの森」を発行するまでは、シェルドンの森は秘密のベールに隠されていました。ロータリーの源流はシェルドンの森の奥から流れ出ていることは分かっているものの、その森に関する資料はあまりにも乏しくて、果たしてどこに、そのような森が存在するのか、どんな樹木が茂っているのか、知っている人は殆どいませんでした。

～中 略～

日本ではシェルドンの著書に巡り合う機会は皆無に等しく、僅かに1921年の国際大会で講演された「ロータリー哲学」だけしか公開されていませんでした。

それ以外に出回っている僅かばかりのシェルドンに関する資料も、間違いだらけの、二次三次の資料ばかりでした。私はRI本部の資料室、インターネットによる検索、果てはアメリカの連邦図書館の蔵書リストを手掛かりにして、古本屋のウェブ上のネットワークにまで出入りし

て、シェルドンの資料を調べました。その結果、シェルドンは、メジャーな本7冊と分冊を含めると100冊程度の数多くの貴重な文献を出版していることが分かりました。

～中 略～

私が翻訳した「経営学 The Science of Business」に「シェルドン・コース Sheldon Course」が加わったことで、Sheldonismの概要だけは何とか理解できるようになりました。

その結果、シェルドンが説いているのは He profits most who serves best に要約される経営学に基づく奉仕理念であって、現在ロータリーで語られている「職業奉仕 Vocational Service」とは全く別次元の理念であることが分かりました。職業奉仕という言葉が使われたのは、1927年の Aims and Objects Plan 策定に当たって、奉仕活動の実践を容易にするために、イギリスのロータリー・クラブ群がパイロット・プロジェクトして採用した際に、付けた名称で、シェルドンの経営学上の奉仕理念とは、全く次元の異なるものであって、実践的な活動が容易になるように、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に分割され、さらに近年、青少年奉仕を加えたということであり、最近の職業奉仕理念が変わったと嘆くこと自体が間違いです。

衰退しつつあることは間違いありませんが、He profits most who server best のモットーが残っている限り、シェルドンの経営学に基づく奉仕理念即ち Sheldomism が残っていることは間違いなく、規定審議会でこのモットーが廃止された時点で、元来のロータリーの基本的な奉仕理念であった Sheldomism は消滅したと言えるでしょう。

2001年の規定審議会で私が提案した「歴史的に重要な文書は原文のまま残す件」が採択されたので、RIもこのモットーを残さざるを得ないので、勝手に使用禁止にはできないことは、大きな成果だと自画自賛しています。

このフレーズが表す意味については、項を改めて詳しく解説したいと思います。

《次回へ続く》